

最近の経済動向

平成28年1月号

(平成27年11月の経済指標を中心として)

【北海道の景気概況】

緩やかに持ち直しているものの、一部に弱い動きもみられる

【需要動向（消費・投資）】

- P 1 ■個人消費～ 緩やかに持ち直しているものの、一部に弱い動きもみられる
百貨店・スーパー販売額
コンビニエンスストア販売額
新車登録台数
- P 2 ■住宅建設～ 弱さがみられる
新設住宅着工戸数
- P 3 ■公共工事～ 減少している
公共工事請負金額
- P 3 ■観光～ 改善している
来道者数
- P 4 ■輸出入～ 輸出額、輸入額とも前年を下回った
輸出入額

【生産動向】

- P 5 ■生産活動～ 一進一退の動きとなっている
鉱工業生産指数
- P 5 ■電力～ 前年を下回った
電力需要
- P 6 ■企業倒産～ 負債総額は増加したが、件数は減少した
企業倒産件数
負債総額

【雇用動向】

- P 7 ■求人・求職～ 改善している
月間有効求人数・求職者数
有効求人倍率
- P 8 ■失業
完全失業者数
完全失業率

【物価動向】

- P 8 ■物価～ 消費者物価指数は前年を下回った
消費者物価指数

【企業情報】

- P 9 ■企業のみなさまから伺いました

【地域の経済動向】

- P 11 ■地域の経済動向
道南圏、道央圏、道北圏、オホーツク圏、十勝圏、釧路・根室圏

【景気動向指数・全国の景気】

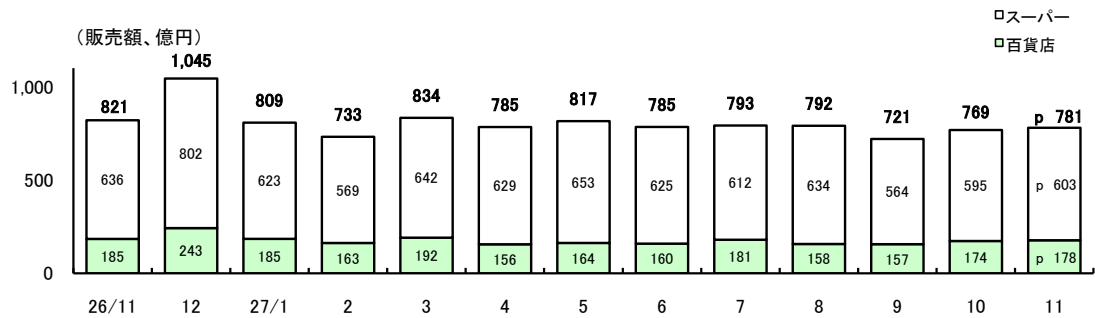
- P 17 ■北海道の景気動向指数
- P 18 ■全国の景気

[需要動向(消費・投資)]

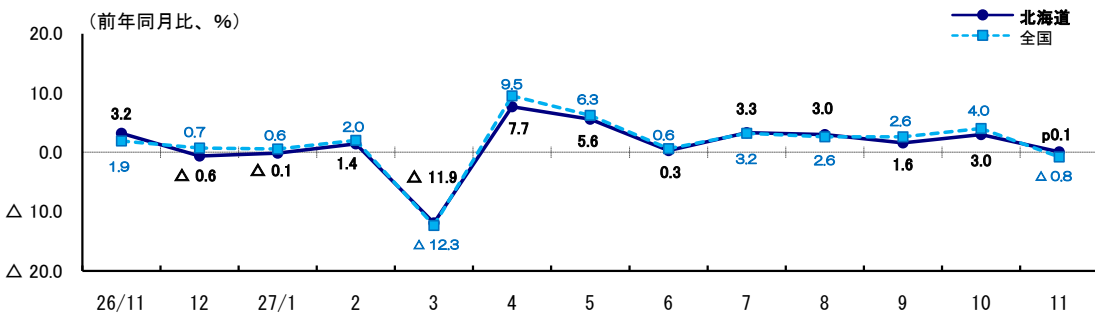
■個人消費～ 緩やかに持ち直しているものの、一部に弱い動きもみられる

◆百貨店・スーパー(全店)販売額(11月)◆

百貨店・スーパー販売額は、781億円で前年同月比0.1%の増加となり、8か月連続で前年を上回った。



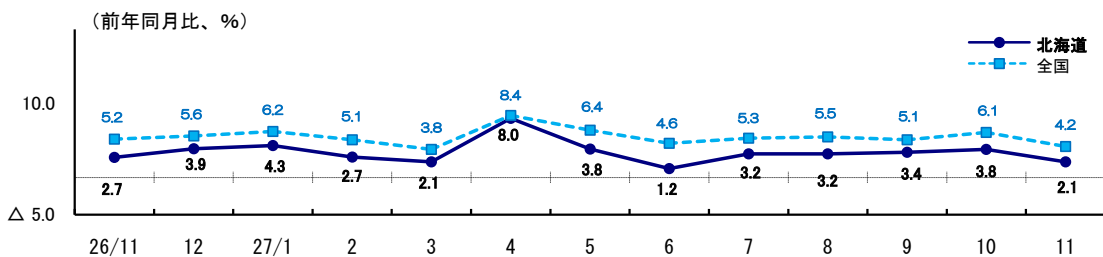
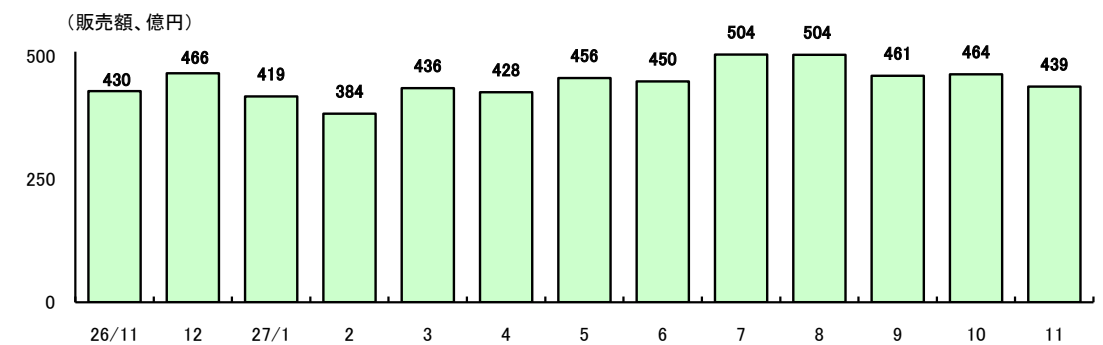
(注)pは速報値(以下同様)



(経済産業省、北海道経済産業局調べ)

◆コンビニエンスストア(全店)販売額(11月)◆

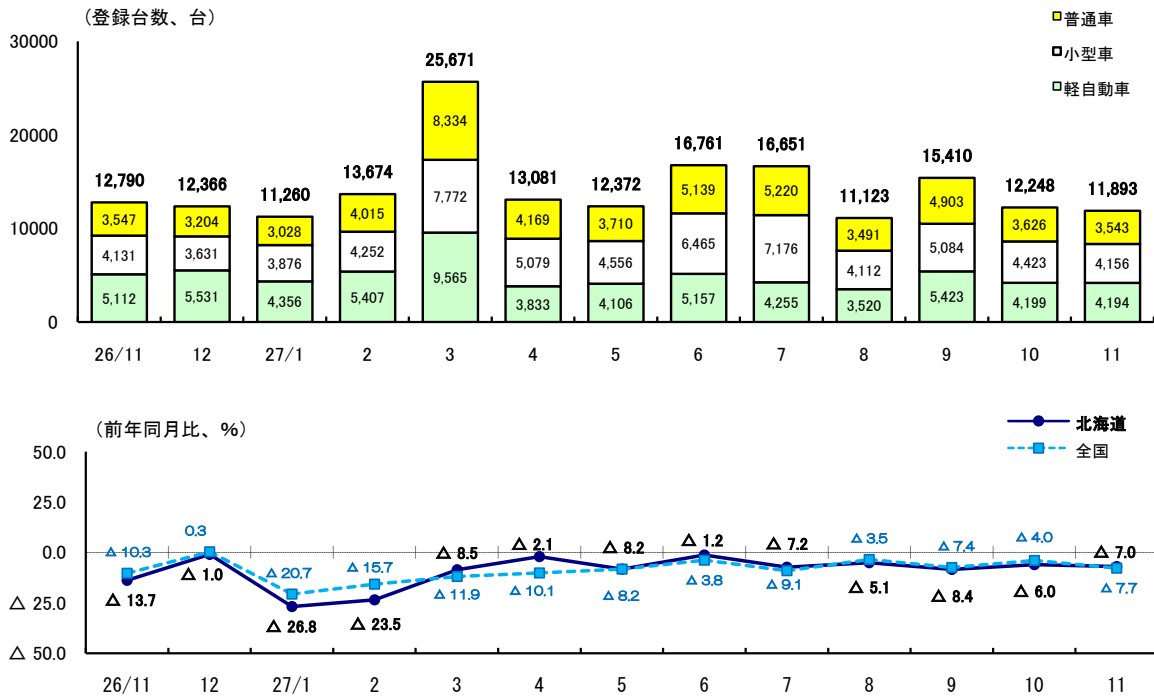
コンビニエンスストア販売額は、439億円で前年同月比2.1%の増加となり、26か月連続で前年を上回った。



(経済産業省、北海道経済産業局調べ)

◆新車登録台数（11月）◆

新車登録台数は、11,893台で前年同月比7.0%の減少となり、20か月連続で前年を下回った。

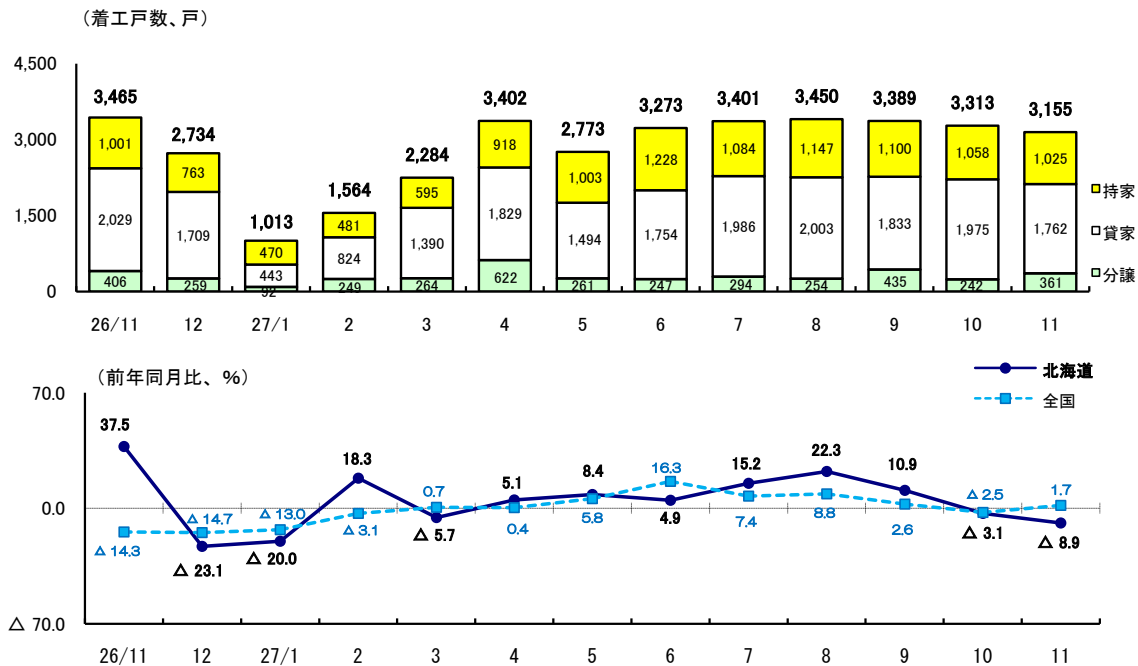


(日本自動車販売協会連合会、全国軽自動車協会連合会調べ)

■住宅建設 ～ 弱さがみられる

◆新設住宅着工戸数（11月）◆

総戸数は、3,155戸で前年同月比8.9%の減少となり、2か月連続で前年を下回った。

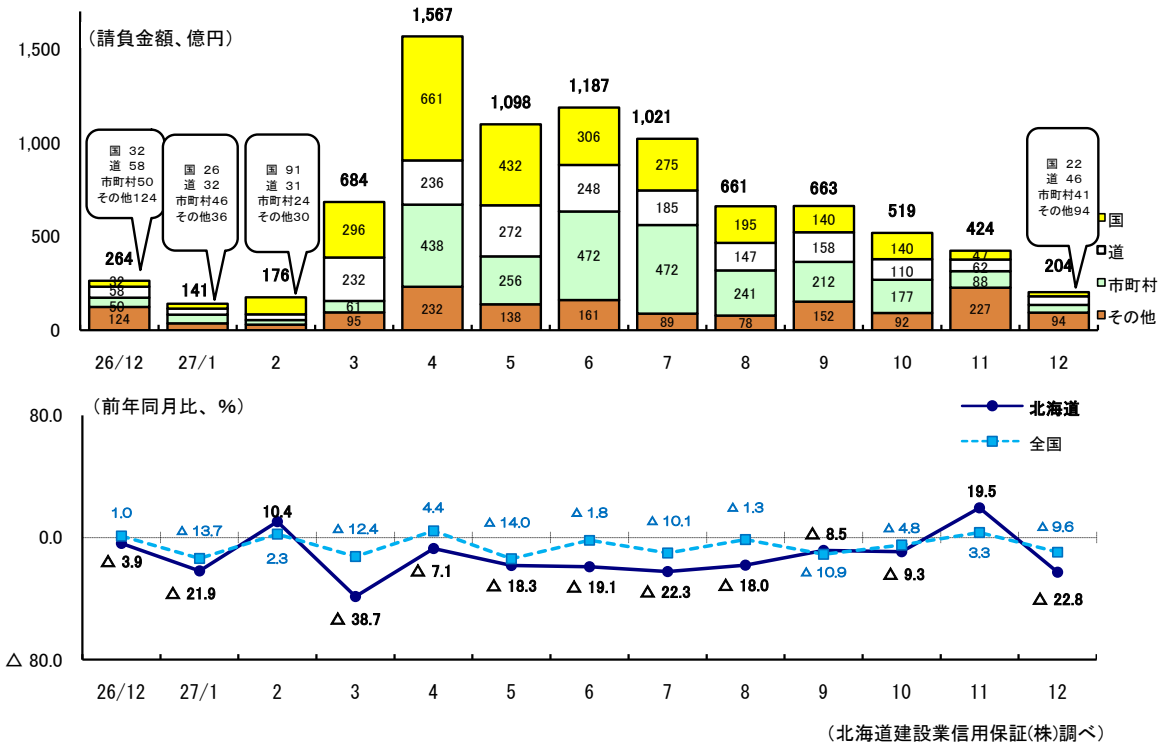


(国土交通省住宅局調べ)

■公共工事～減少している

◆公共工事請負金額（12月）◆

請負金額は、204億円で前年同月比22.8%の減少となり、2か月ぶりに前年を下回った。



■観光～改善している

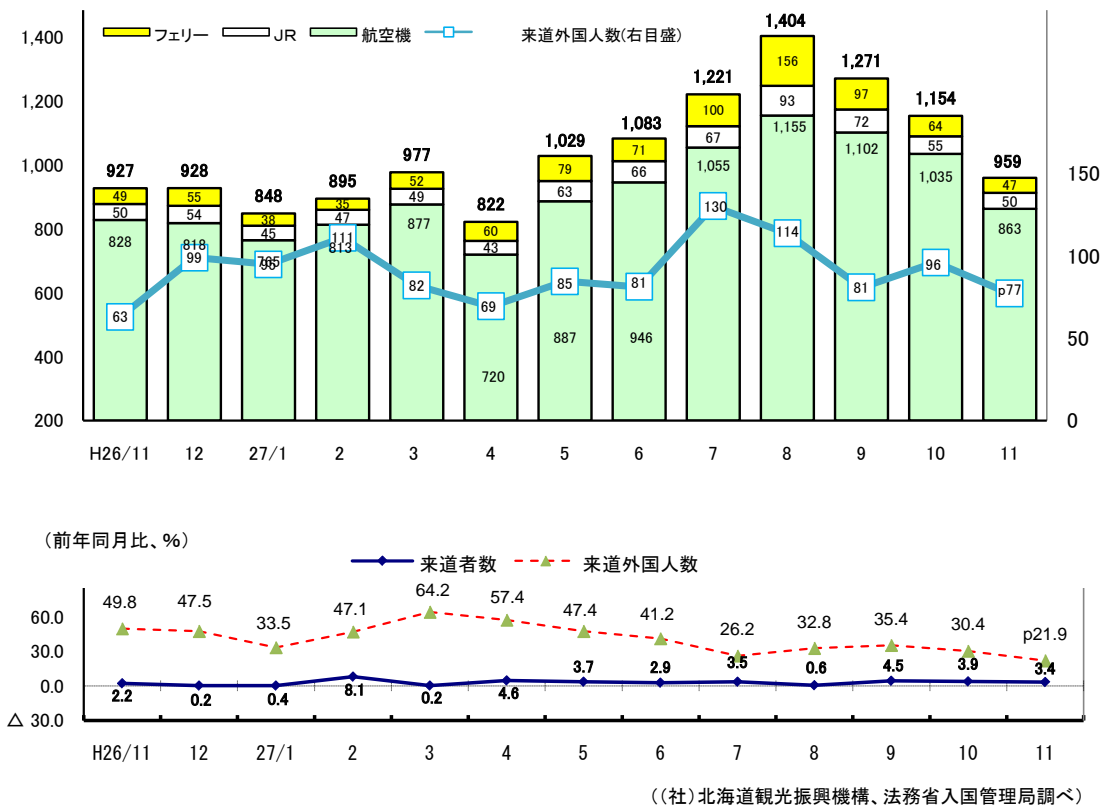
◆来道者数（11月）◆

来道者数は、95万9千人で前年同月比3.4%の増加となり、13か月連続で前年を上回った。

本道に直接入国した外国人は、7万7千人で同21.9%の増加となり、34か月連続で前年を上回った。

(来道者数、千人)

(来道外国人数、千人)

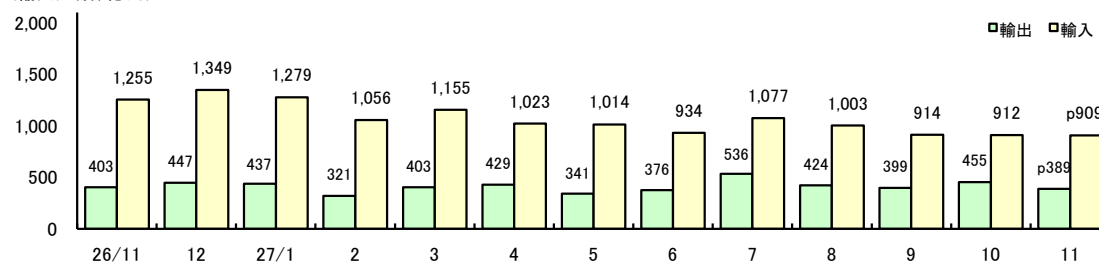


■輸出入～輸出額、輸入額とも前年を下回った

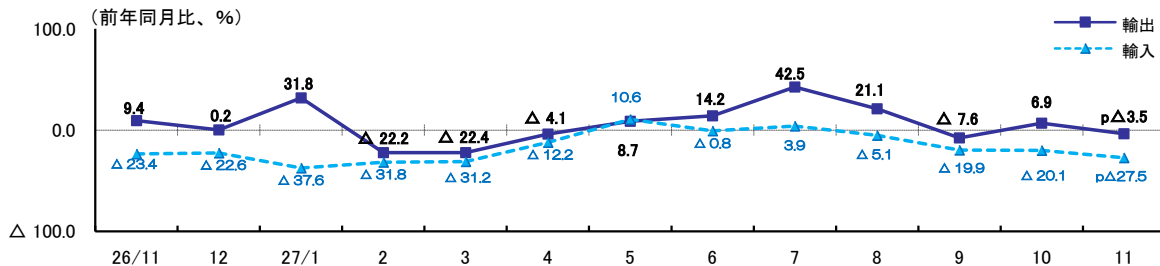
◆輸出入額（11月）◆

輸出額は、389億円で前年同月比3.5%の減少となり、2か月ぶりに前年を下回った。
輸入額は、909億円で同27.5%の減少となり、4か月連続で前年を下回った。

(輸出入額、億円)



(前年同月比、%)



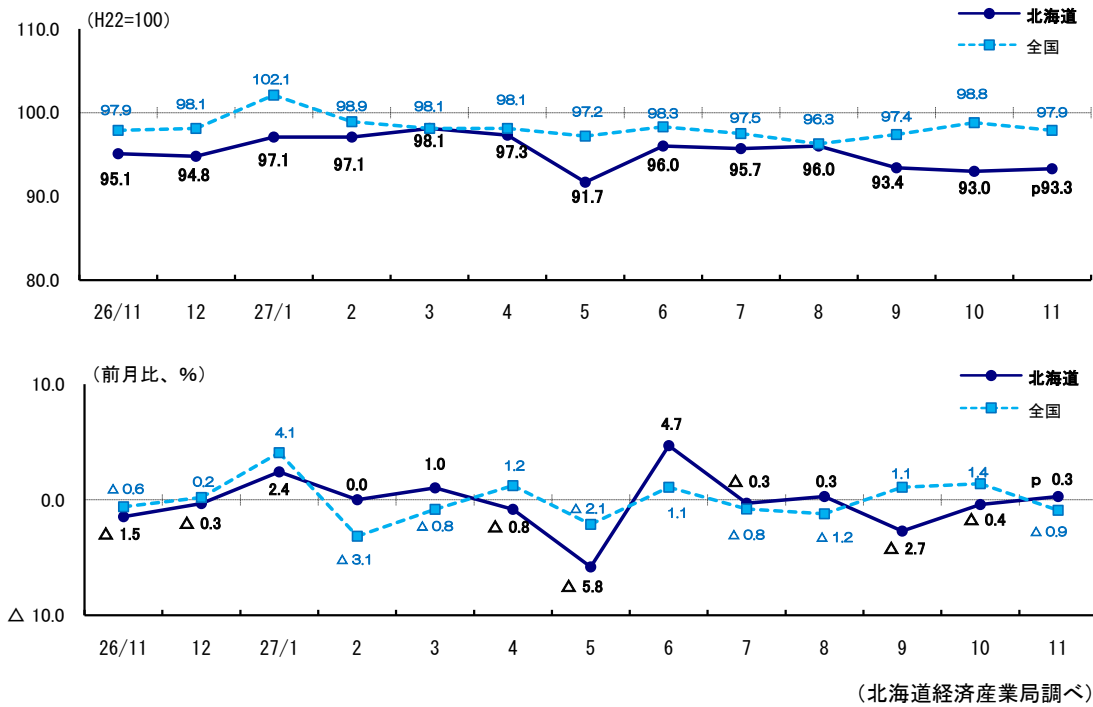
(財務省、函館税関調べ)

[生産動向]

■生産活動 ～ 一進一退の動きとなっている

◆鉱工業生産指数（11月）◆

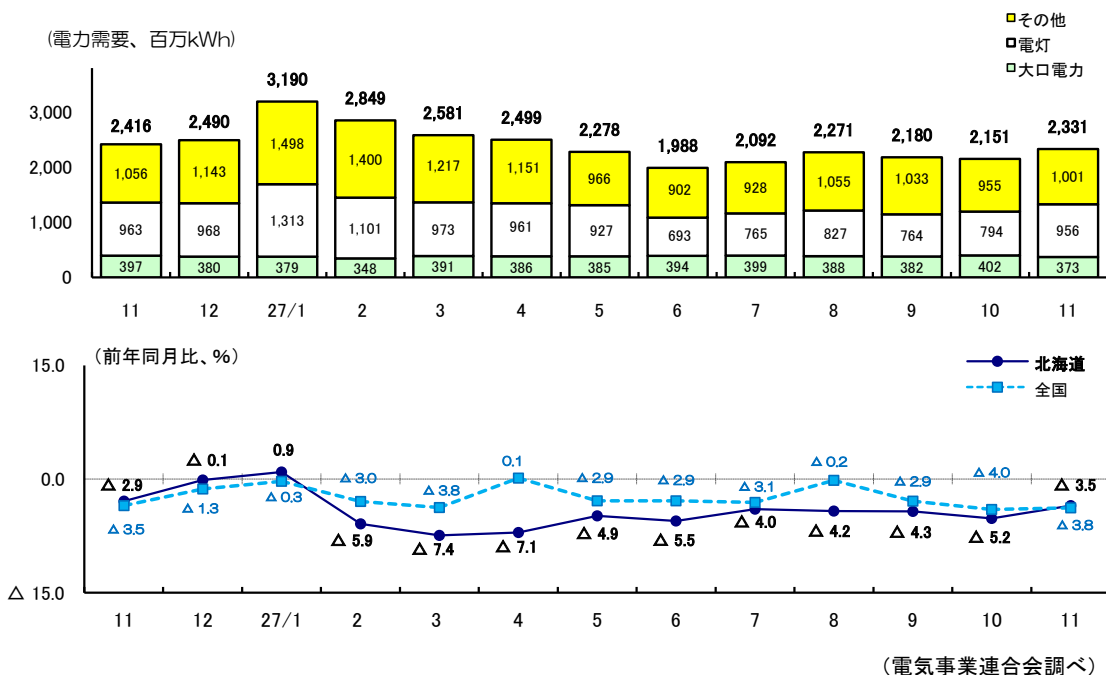
鉱工業生産指数(季節調整済)は、93.3で前月比0.3%の上昇となり3か月ぶりに前月を上回った。



■電 力 ～ 前年を下回った

◆電力需要（11月）◆

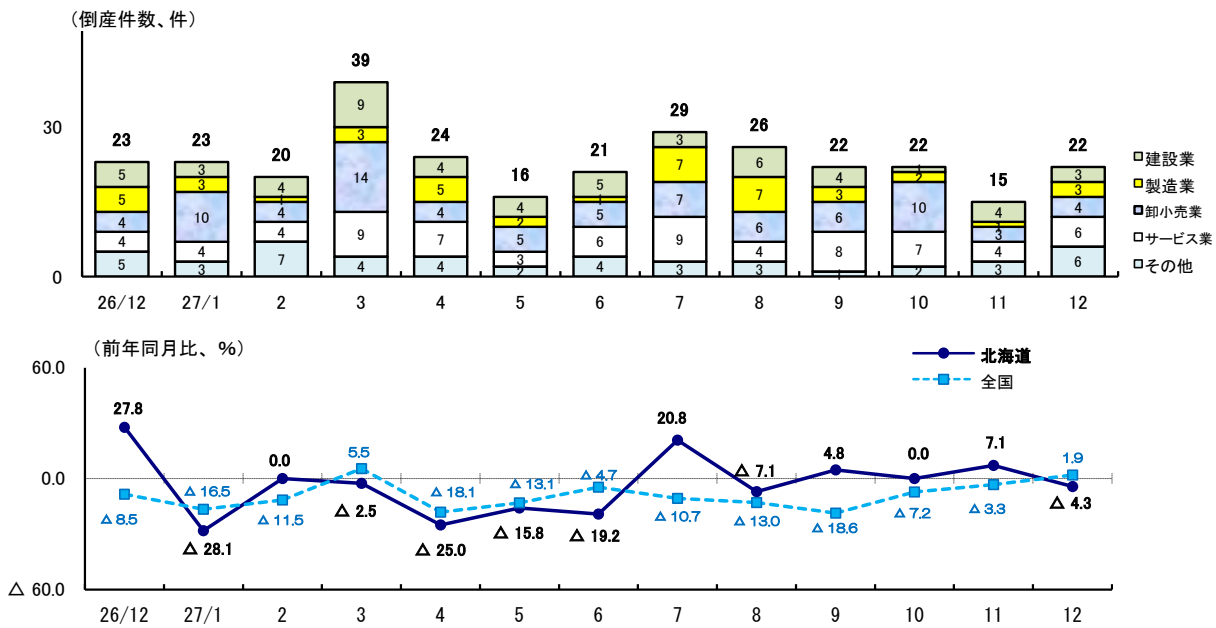
電力需要は、2,331百万kWhで前年同月比3.5%の減少となり、10か月連続で前年を下回った。



■企業倒産 ～ 負債総額は増加したが、件数は減少した

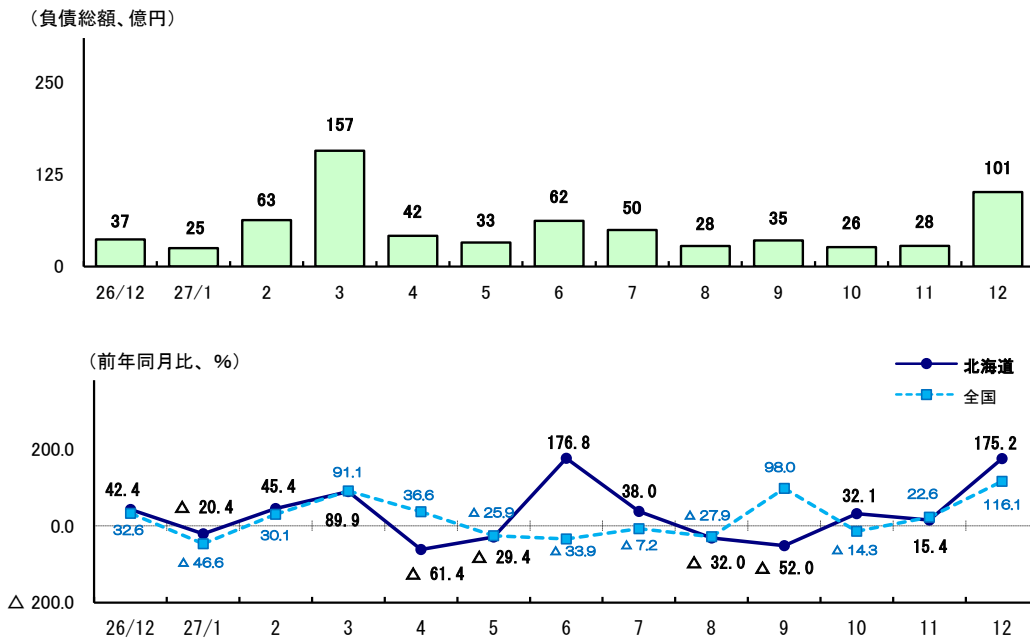
◆企業倒産件数（12月）◆

企業倒産件数は、22件で前年同月比4.3%の減少となり、4か月ぶりに前年を下回った。



◆負債総額（12月）◆

負債総額は、101億円で前年同月比175.2%の増加となり、3か月連続で前年を上回った。

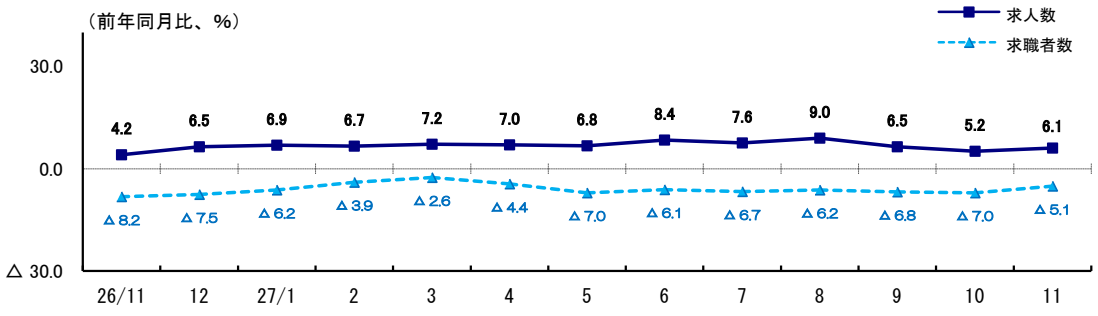
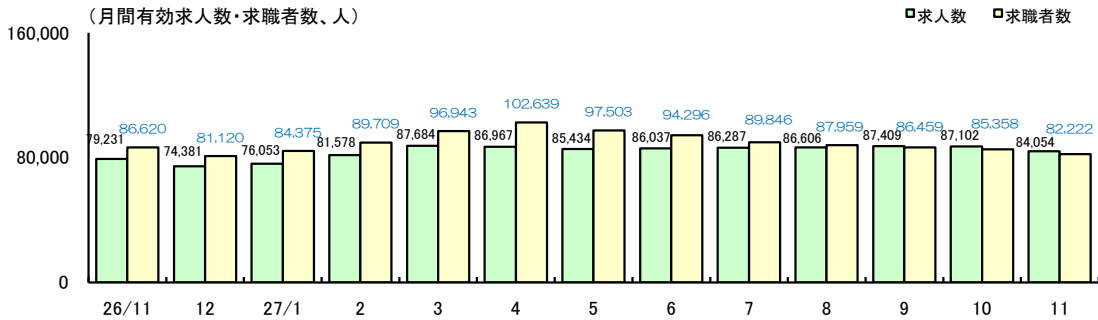


[雇用動向]

■求人・求職～ 改善している

◆月間有効求人数・求職者数（11月）◆

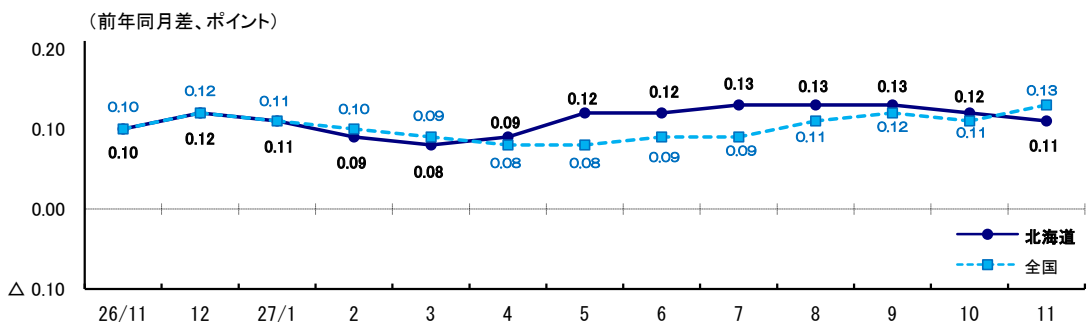
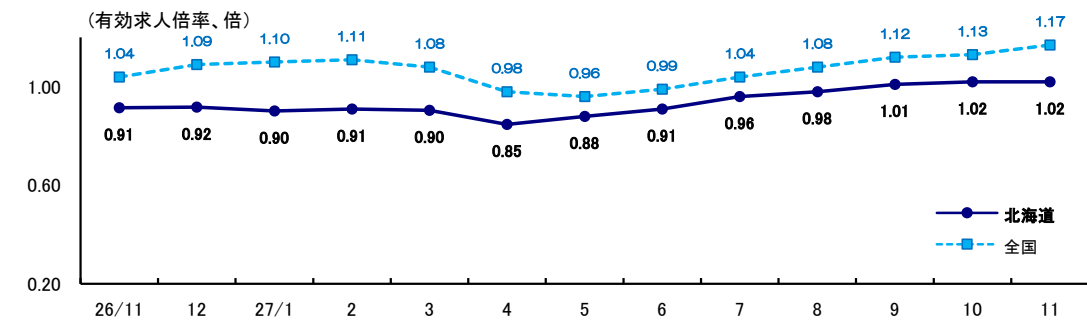
月間有効求人数は、8万4,054人で前年同月比6.1%の増加となり、70か月連続で前年を上回った。
 月間有効求職者数は、8万2,222人で同5.1%の減少となり、49か月連続で前年を下回った。



(厚生労働省及び北海道労働局調べ)

◆有効求人倍率（11月）◆

有効求人倍率は、1.02倍で前年同月差で0.11ポイントの増加となり、70か月連続で前年を上回った。

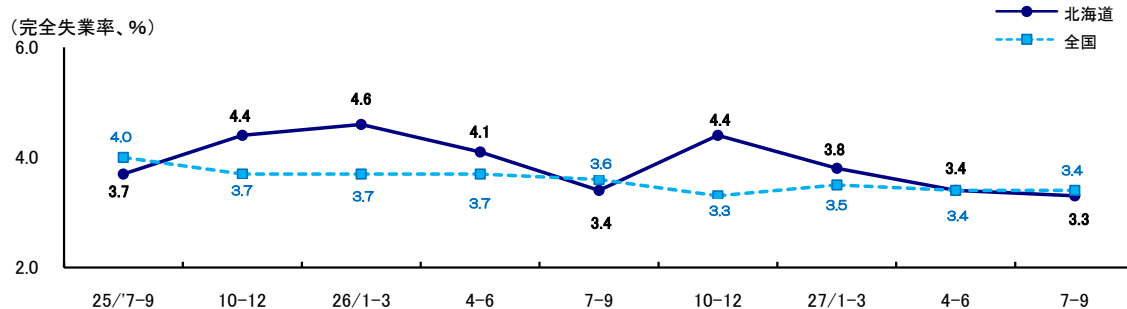
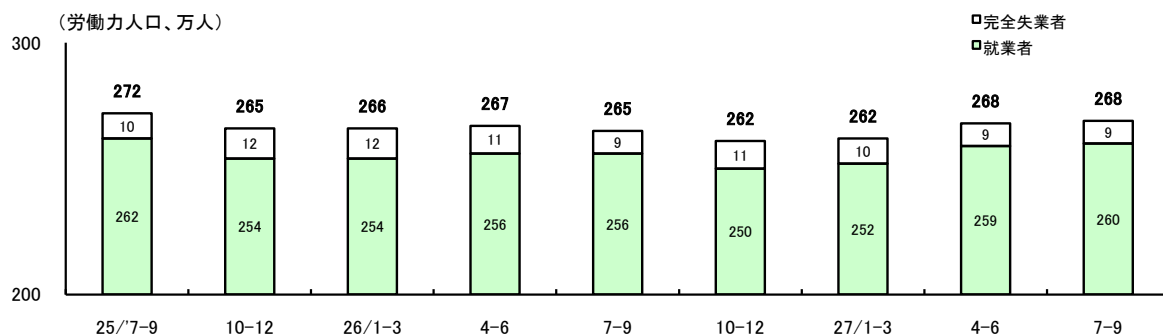


(厚生労働省及び北海道労働局調べ)

■失 業

◆完全失業者数、完全失業率（27年7-9月期）◆

完全失業者数は、9万人で前年同期と同数となっている。
完全失業率は、3.3%で前年同期から0.1ポイント低下した。



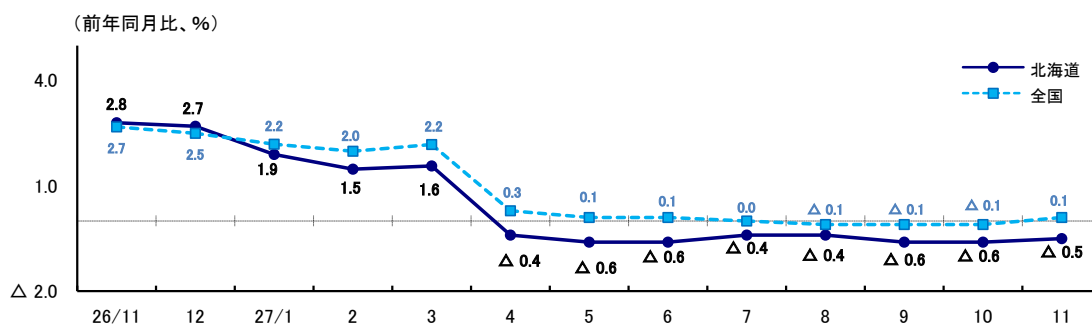
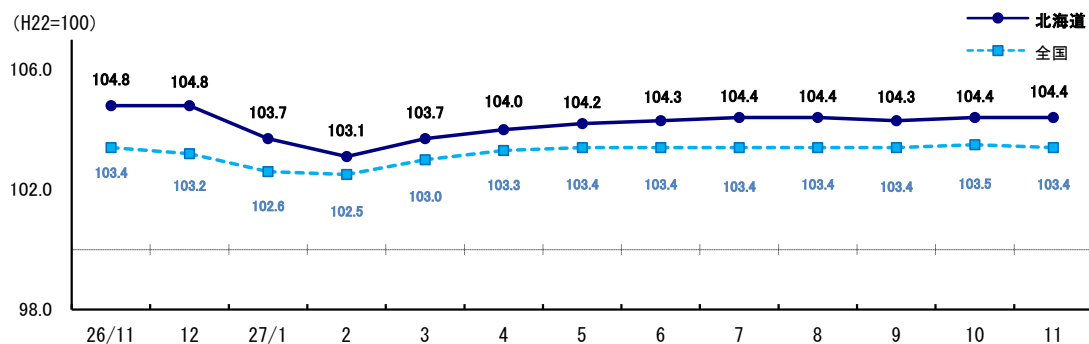
(総務省調べ)

[物価動向]

■物 価 ~ 消費者物価指数は前年を下回った

◆消費者物価指数（生鮮食品除く）（11月）◆

消費者物価指数は、104.4で前年同月と比べ0.5%の低下となり、8ヶ月連続して前年を下回った。



(総務省調べ)

[企業情報]

■企業のみなさまから伺いました

◆百貨店(道央圏)

【売上は堅調】

12月は、比較的暖かい日が続いたことから、冬物はコートなど衣料品の動きがやや弱かったが、マフラーや手袋といった防寒雑貨は好調だった。また、中旬以降は、クリスマスギフトなどの雑貨が良かったほか、年末年始用の食料品などが伸びたため、全体としては堅調な売上となった。

【インバウンド及び富裕層も好調に推移】

特選ブランドの婦人服・バック類、化粧品、高級時計などについては、インバウンドだけではなく国内富裕層からの支持を受けており、引き続き順調に売上を伸ばしている。

特にインバウンドについては、大幅な伸びを示した昨年冬からちょうど1年が経過し、伸び率としては落ち着いてきたが、増加傾向には変化がないものと考えている。

◆スーパー(道央圏)

【年末年始向け食品は堅調】

12月は、生鮮食品を中心に商品単価の上昇が続いたことで買上点数が減少したが、来客数の増加によって売上高は前年と比べてプラスとなった。

また、中旬まで気温の高い日が続いたこともあり、白菜、しいたけ、とうふなどの鍋物需要が若干昨年を下回ったものの、クリスマス、正月用として刺身、寿司、オードブル類のほか、すき焼き、焼き肉用の牛肉が好調だった。

◆コンビニエンスストア(道央圏)

【堅調に推移】

12月は、前年と比べると年末の休暇が短かったため、来客数は減少したものの、商品単価が上昇したことから、売上げはほぼ前年並みであった。

また、降雪量が少なかったため、夜間や早朝における除雪作業員による需要が低下した。

カップ麺やインスタント麺については、大雪の日が続き買いだめ需要があった昨年と比べて売上げは減少したが、クリスマスケーキやおせちの売上げは前年以上となった。

◆家電量販店業(道央圏)

【売上は堅調に推移】

12月は、暖冬のせいか暖房製品の動きが鈍かったものの、天候に恵まれたため、客足も良く、客数、客単価とも上昇したため、昨年同期と比べて売上は増加した。

白物家電・掃除機・携帯電話・テレビのシェアが高く、特に、白物家電では洗濯機の売れ行きが良かったほか、4K製品を中心に50インチクラスのテレビの売上げが好調だった。

【今後は「ネット販売」と店舗販売の融合を目指す】

「インターネット販売」も好調に推移しており、現状はまだそれほどのシェアではないが、それでも、昨年比で倍増している。

今後は、条件によって店舗販売についても、ネット同様に配送料を無料にするなど、店舗とネットの垣根を取り払って顧客の利便性向上を図っていきたい。

◆洋菓子製造販売業(道央圏)

【売上は堅調に推移】

12月は、クリスマスなど1年で一番売上げが伸びる月であり、今年は天候に恵まれただけでなく、新店舗がオープンしたことで、客足も好調となり、売上げも前年同期に比べ堅調に推移した。

【依然として続く原材料の高騰】

洋菓子製造に欠くことの出来ない生卵やアーモンドなど、原材料価格の上昇、高止まりが続く厳しい経営環境ではあるが、主力商品の製造ラインの増加など、生産体制の強化に取り組んでいる。

【北海道ブランドとしての展開】

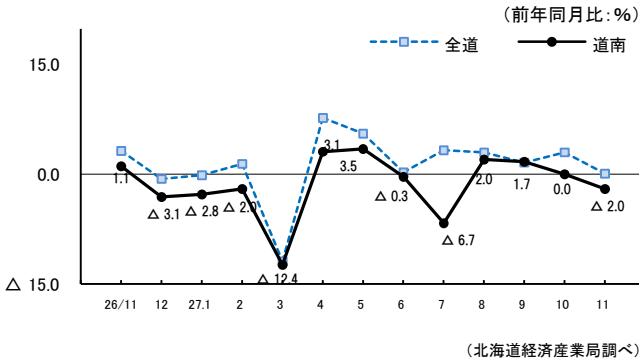
道内だけでなく、道外や海外への出店も積極的に進めており、今後とも可能な限り道産食材を使用し、「北海道ブランド」として魅力的な商品を提供していきたい。

[地域の経済動向]

■道南圏

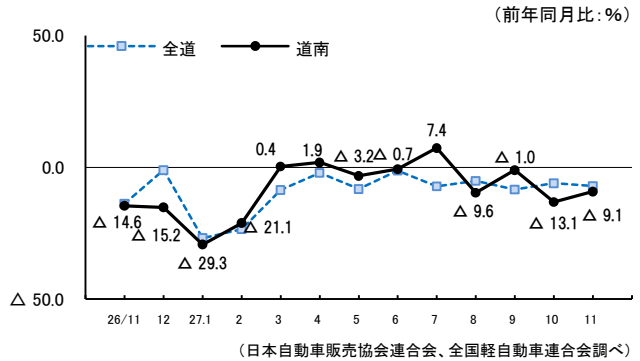
◆百貨店・スーパー販売額(11月)◆

(全店、函館市)
4ヶ月ぶりに前年を下回った



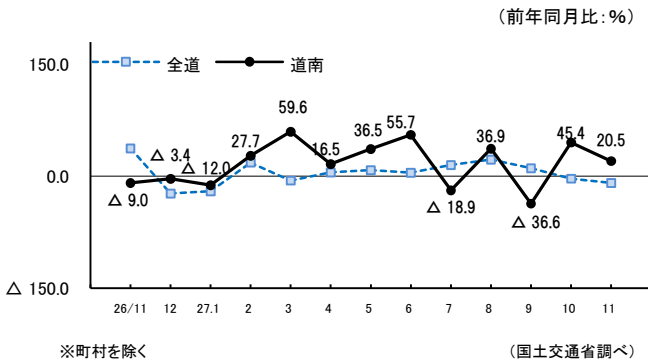
◆新車登録台数(乗用車)(11月)◆

4か月連続で前年を下回った



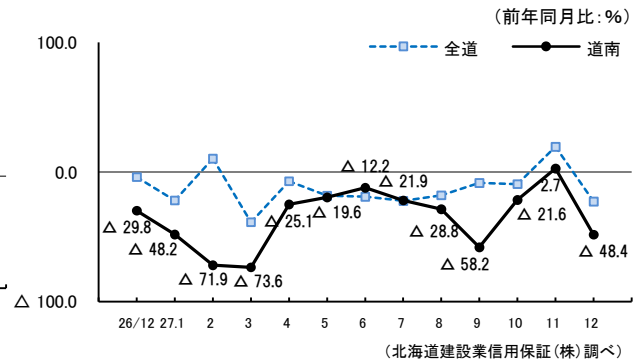
◆新設住宅着工戸数(11月)◆

2か月連続で前年を上回った



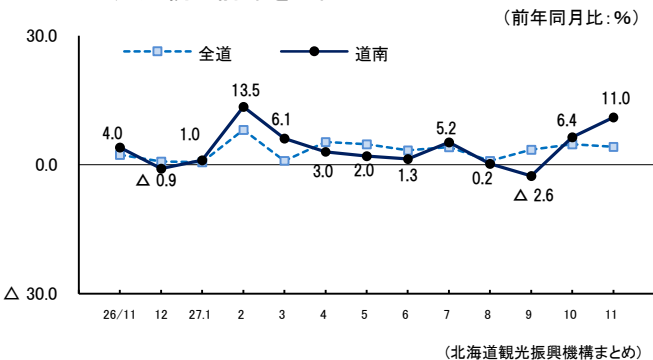
◆公共工事請負金額(12月)◆

2か月ぶりに前年を下回った



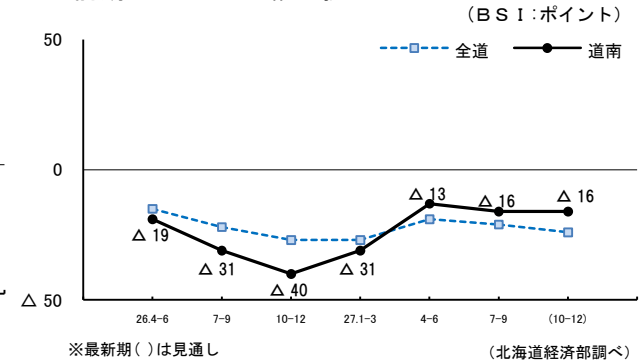
◆航空機利用による来道者数(着地別)(11月)◆

2か月連続で前年を上回った



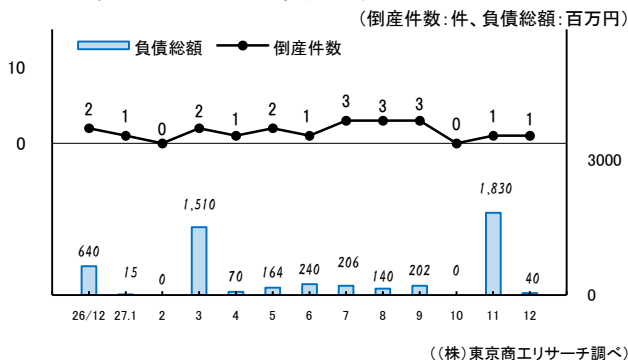
◆企業の業況感(7-9月期)◆

前期からマイナス幅が拡大した



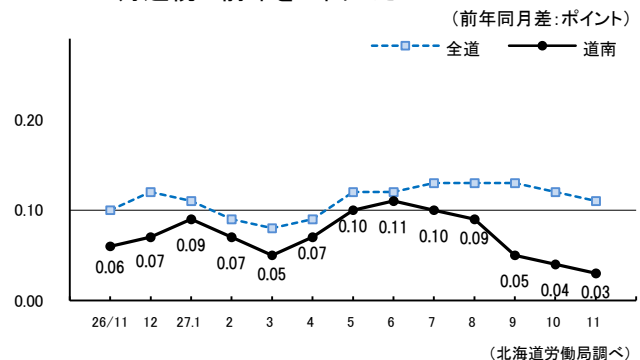
◆企業倒産件数・負債総額(12月)◆

10億円以上の大型倒産は発生しなかった



◆有効求人倍率(11月)◆

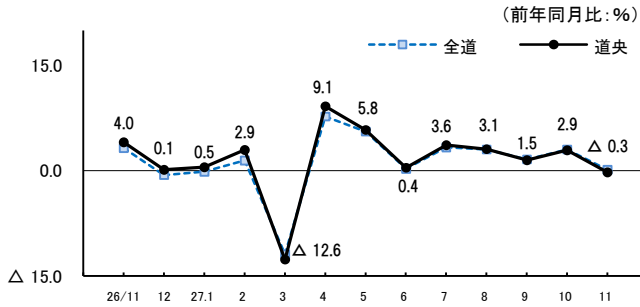
67か月連続で前年を上回った



■道央圏

◆百貨店・スーパー販売額(11月)◆

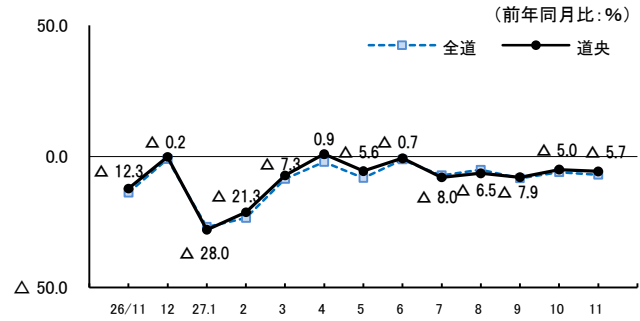
(全店、札幌市・小樽市・苫小牧市・室蘭市)
8か月ぶりに前年を下回った



(北海道経済産業局調べ)

◆新車登録台数(乗用車)(11月)◆

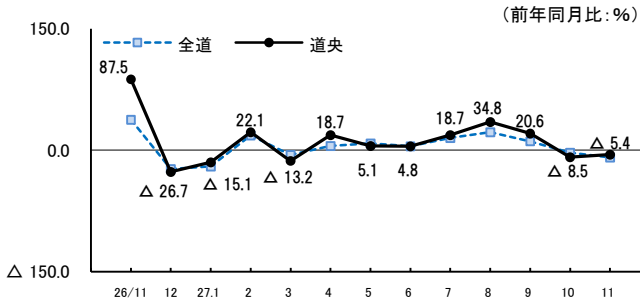
7か月連続で前年を下回った



(日本自動車販売協会連合会、全国軽自動車連合会調べ)

◆新設住宅着工戸数(11月)◆

2か月連続で前年を下回った

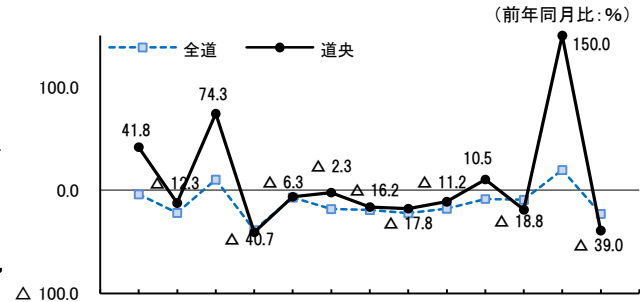


※町村を除く

(国土交通省調べ)

◆公共工事請負金額(12月)◆

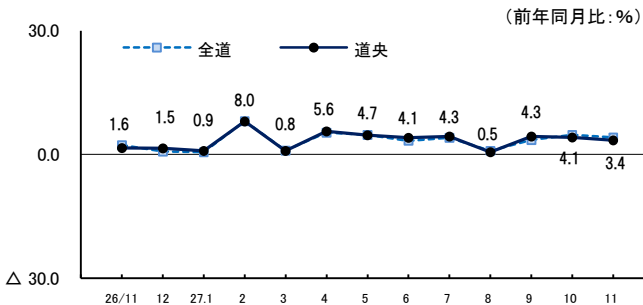
2か月ぶりに前年を下回った



(北海道建設業信用保証(株)調べ)

◆航空機利用による来道者数(着地別)(11月)◆

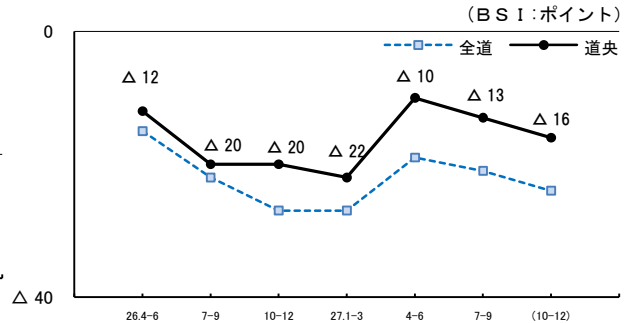
17か月連続で前年を上回った



(北海道観光振興機構まとめ)

◆企業の業況感(7-9月期)◆

前期からマイナス幅が拡大した

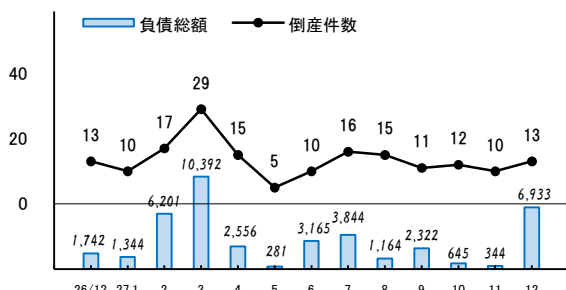


※最新期()は見通し

(北海道経済部調べ)

◆企業倒産件数・負債総額(12月)◆

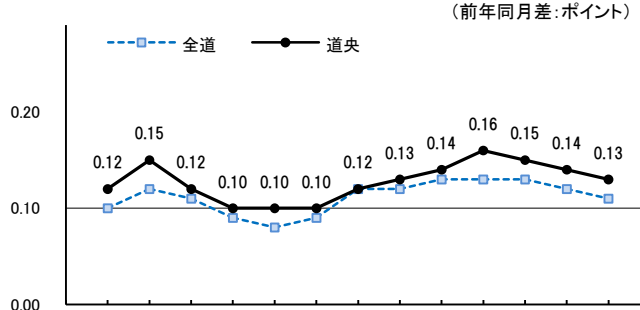
10億円以上の大型倒産が3件発生した
(倒産件数:件、負債総額:百万円)



(株)東京商工リサーチ調べ

◆有効求人倍率(11月)◆

69か月連続で前年を上回った

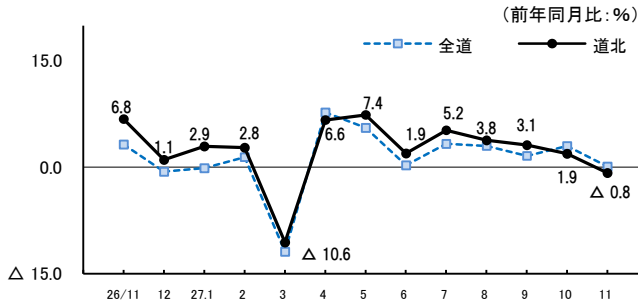


(北海道労働局調べ)

■道北圏

◆百貨店・スーパー販売額(11月)◆

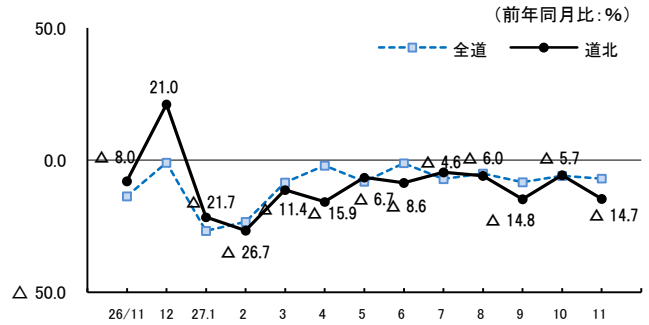
(全店、旭川市)
8か月ぶりに前年を下回った



(北海道経済産業局調べ)

◆新車登録台数(乗用車)(11月)◆

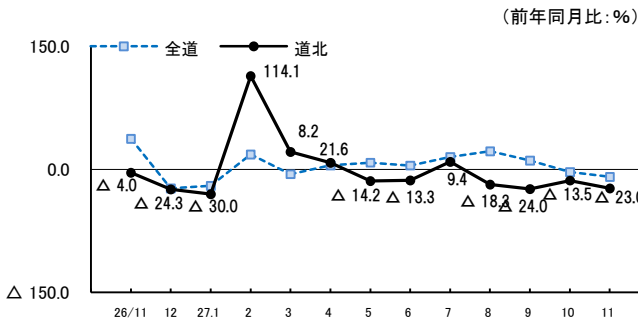
11か月連続で前年を下回った



(日本自動車販売協会連合会、全国軽自動車連合会調べ)

◆新設住宅着工戸数(11月)◆

4か月連続で前年を下回った

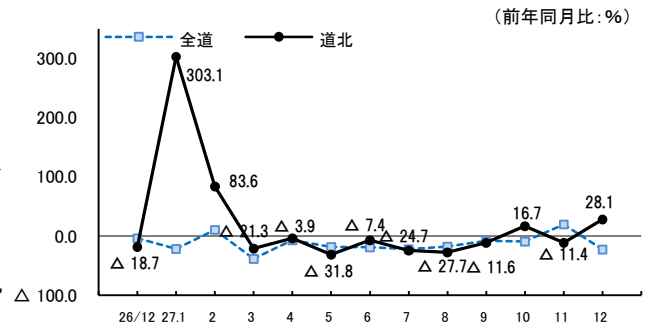


※町村を除く

(国土交通省調べ)

◆公共工事請負金額(12月)◆

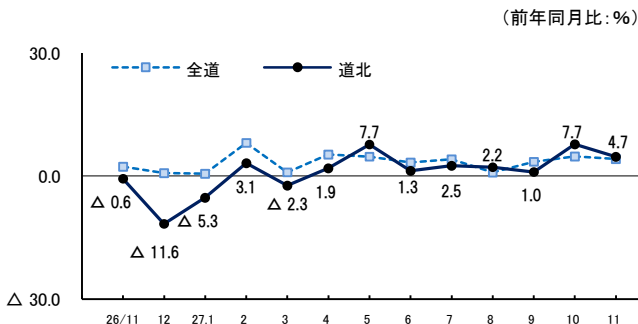
2か月ぶりに前年を上回った



(北海道建設業信用保証(株)調べ)

◆航空機利用による来道者数(着地別)(11月)◆

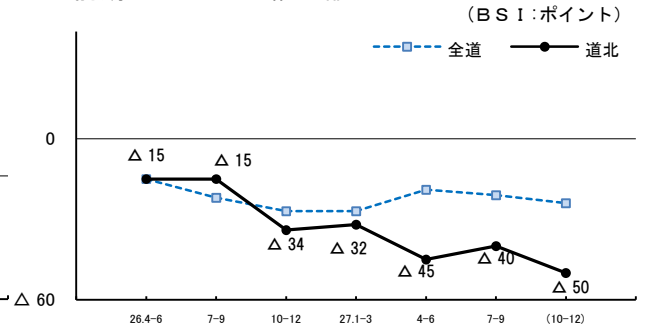
8か月連続で前年を上回った



(北海道観光振興機構まとめ)

◆企業の業況感(7-9月期)◆

前期からマイナス幅が縮小した



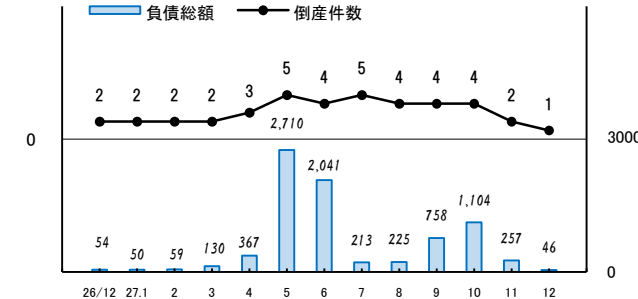
※最新期()は見通し

(北海道経済部調べ)

◆企業倒産件数・負債総額(12月)◆

10億円以上の大型倒産は発生しなかった

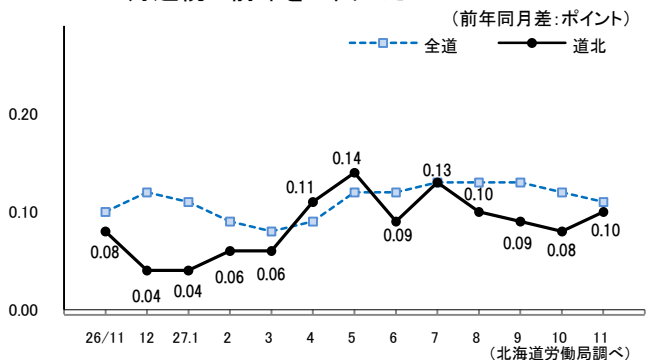
(倒産件数: 件、負債総額: 百万円)



((株)東京商工リサーチ調べ)

◆有効求人倍率(11月)◆

71か月連続で前年を上回った

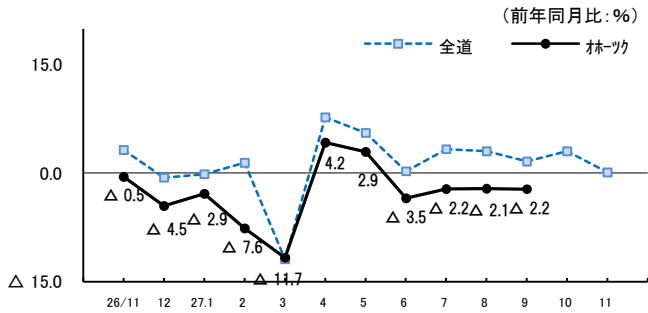


(北海道労働局調べ)

■オホーツク圏

◆主要小売店売上高(全店)(9月)◆

4か月連続で前年を下回った

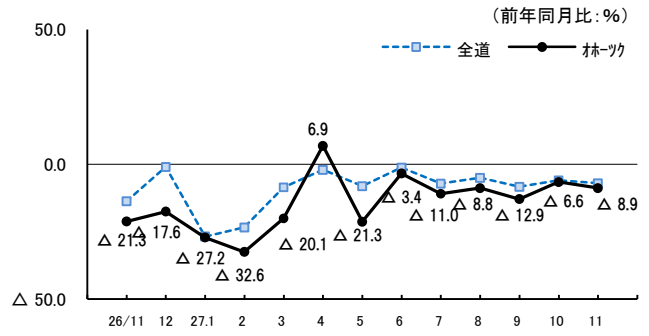


※全道は大型小売店販売額

(財務局北見出張所調べ)

◆新車登録台数(乗用車)(11月)◆

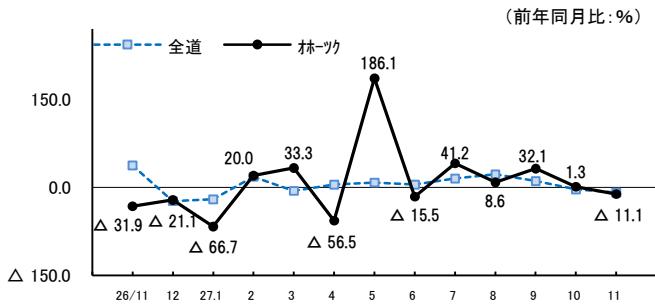
7か月連続で前年を下回った



(日本自動車販売協会連合会、全国軽自動車連合会調べ)

◆新設住宅着工戸数(11月)◆

5か月ぶりに前年を下回った

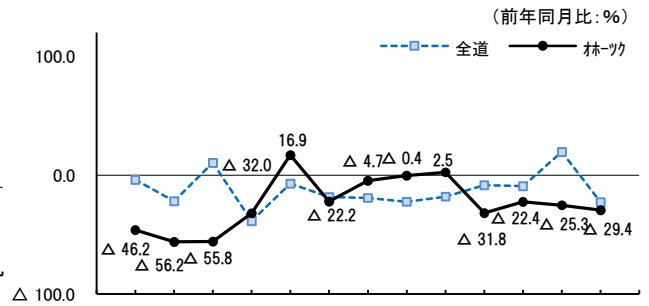


※町村を除く

(国土交通省調べ)

◆公共工事請負金額(12月)◆

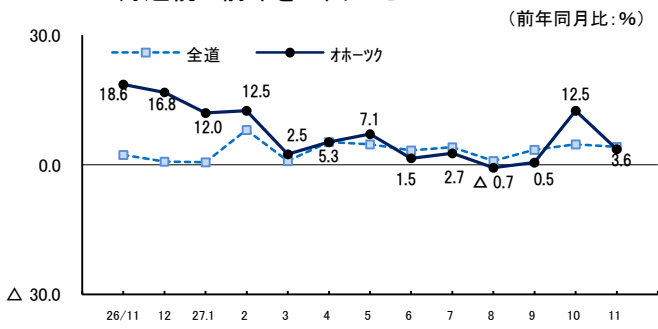
4か月連続で前年を下回った



(北海道建設業信用保証(株)調べ)

◆航空機利用による来道者数(着地別)(11月)◆

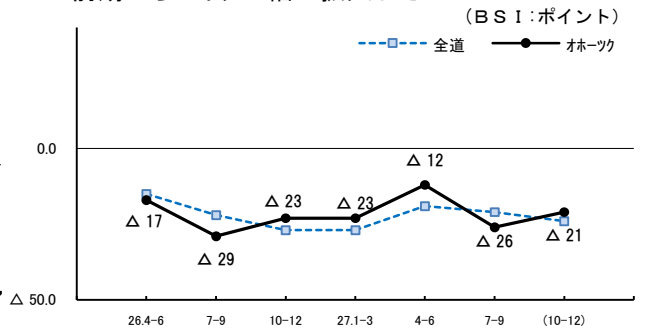
3か月連続で前年を上回った



(北海道観光振興機構まとめ)

◆企業の業況感(7-9月期)◆

前期からマイナス幅が拡大した



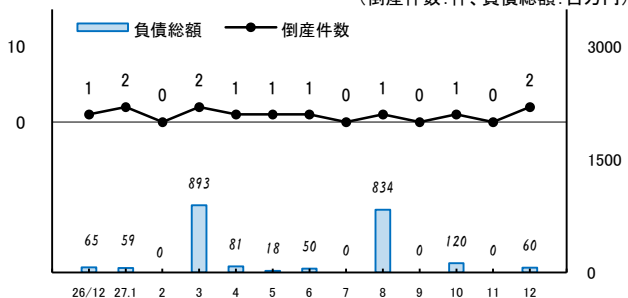
※最新期()は見通し

(北海道経済部調べ)

◆企業倒産件数・負債総額(12月)◆

10億円以上の大型倒産は発生しなかった

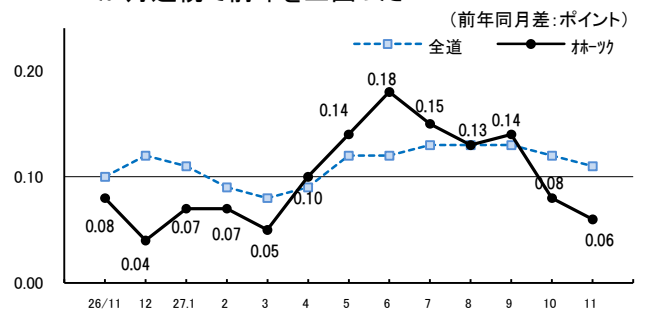
(倒産件数:件、負債総額:百万円)



((株)東京商工リサーチ調べ)

◆有効求人倍率(11月)◆

74か月連続で前年を上回った



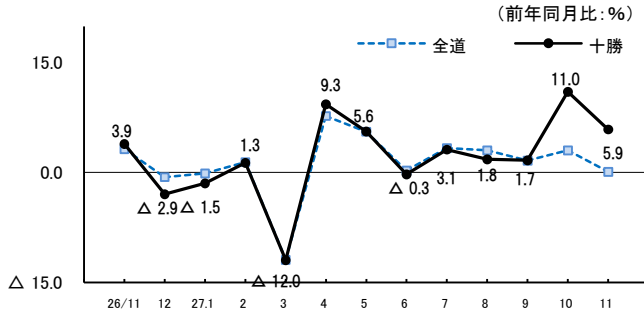
(北海道労働局調べ)

■十勝圏

◆百貨店・スーパー販売額(11月)◆

(全店、帯広市)

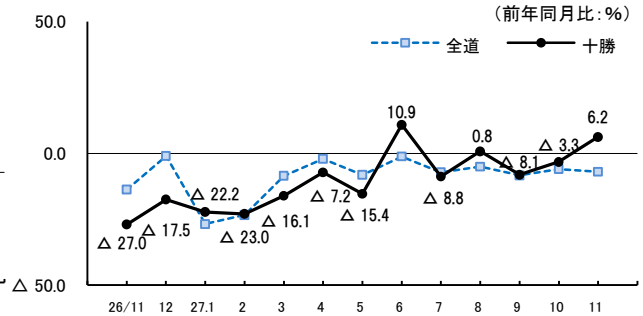
5か月連続で前年を上回った



(北海道経済産業局調べ)

◆新車登録台数(乗用車)(11月)◆

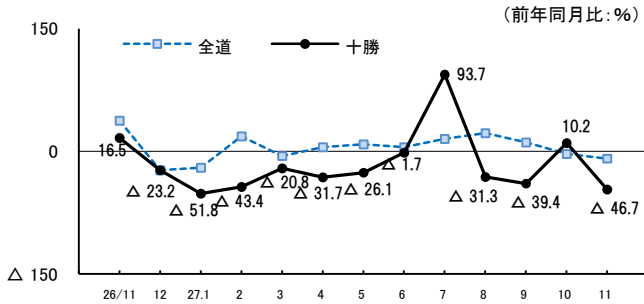
3か月ぶりに前年を上回った



(日本自動車販売協会連合会、全国軽自動車連合会調べ)

◆新設住宅着工戸数(11月)◆

2か月ぶりに前年を下回った

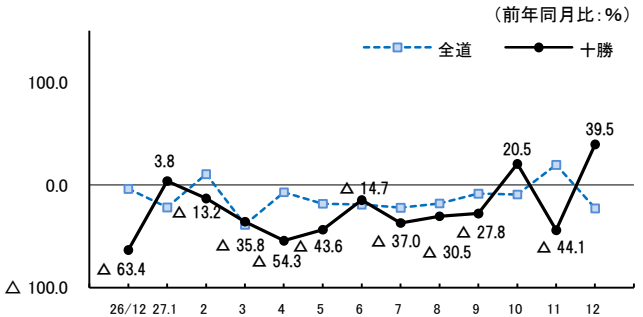


※町村を除く

(国土交通省調べ)

◆公共工事請負金額(12月)◆

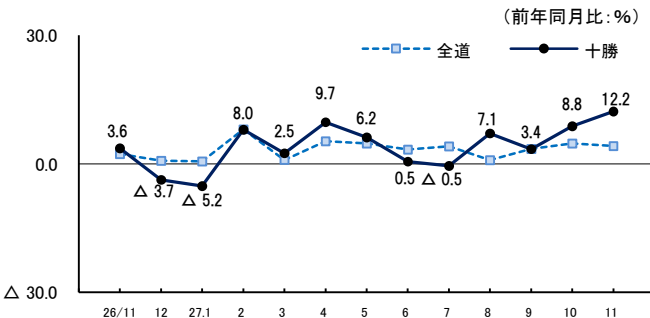
2か月ぶりに前年を上回った



(北海道建設業信用保証(株)調べ)

◆航空機利用による来道者数(着地別)(11月)◆

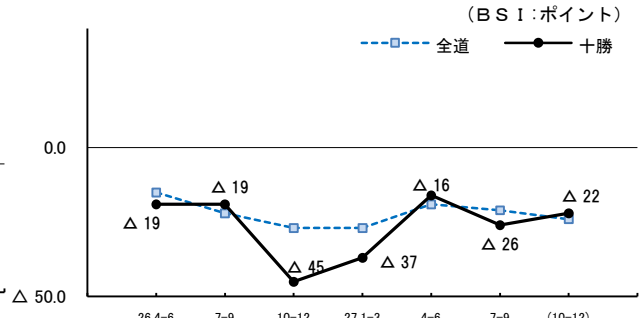
4か月連続で前年を上回った



(北海道観光振興機構まとめ)

◆企業の業況感(7-9月期)◆

前期からマイナス幅が拡大した



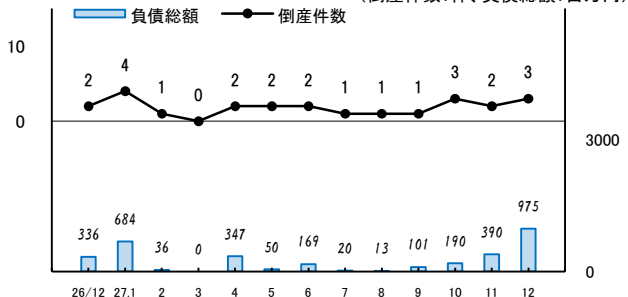
※最新期()は見通し

(北海道経済部調べ)

◆企業倒産件数・負債総額(12月)◆

10億円以上の大型倒産は発生しなかった

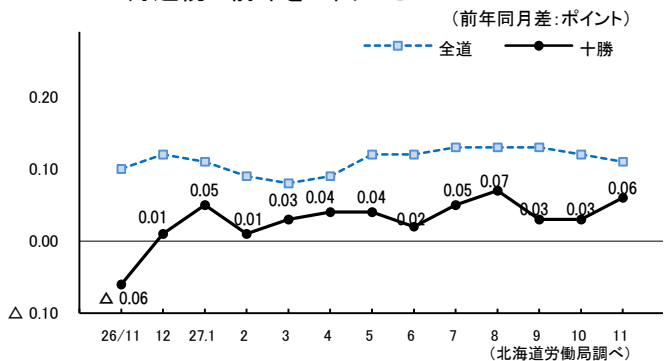
(倒産件数: 件、負債総額: 百万円)



(株)東京商工リサーチ調べ)

◆有効求人倍率(11月)◆

12か月連続で前年を上回った



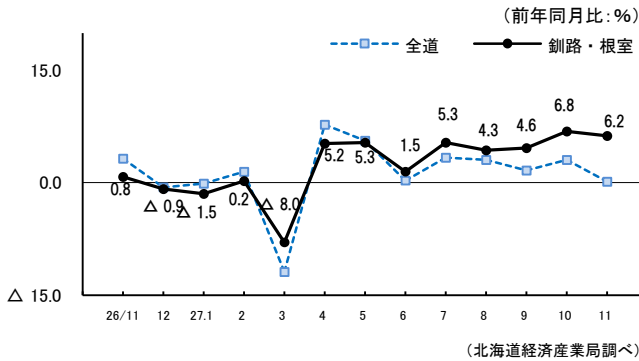
(北海道労働局調べ)

■釧路・根室圏

◆百貨店・スーパー販売額(11月)◆

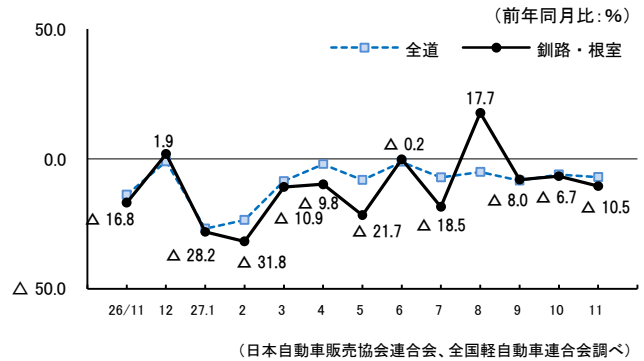
(全店、釧路市)

8か月連続で前年を上回った



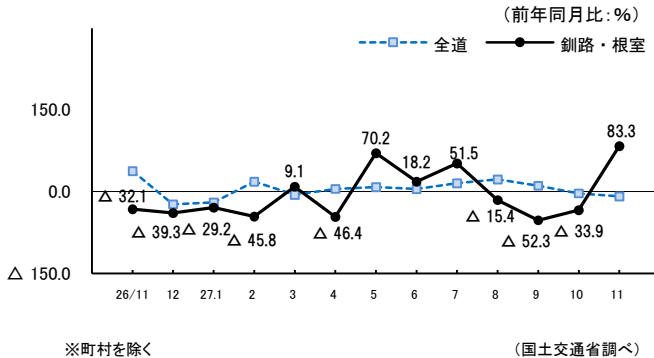
◆新車登録台数(乗用車)(11月)◆

3か月連続で前年を下回った



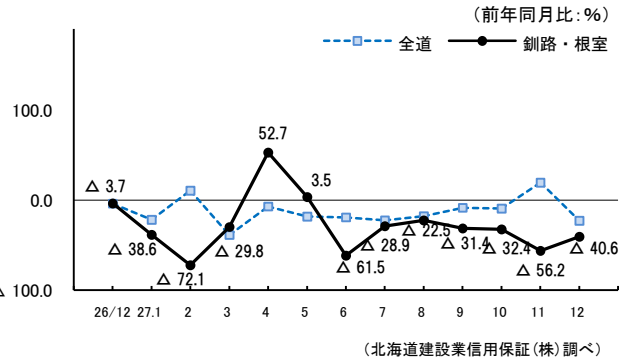
◆新設住宅着工戸数(11月)◆

4か月ぶりに前年を上回った



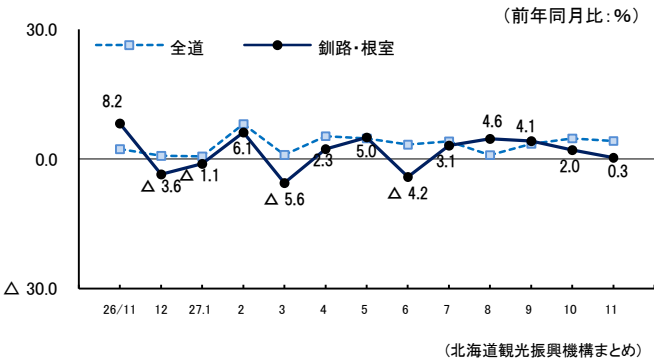
◆公共工事請負金額(12月)◆

7か月連続で前年を下回った



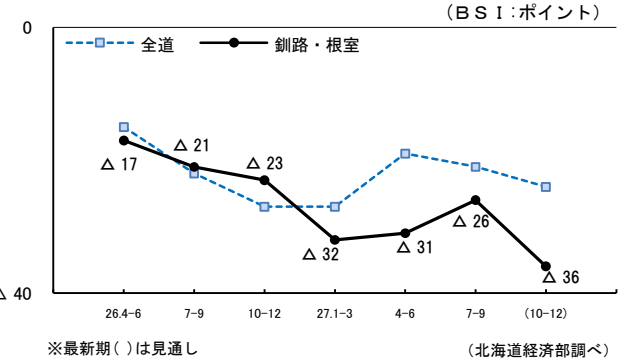
◆航空機利用による来道者数(着地別)(11月)◆

5か月連続で前年を上回った



◆企業の業況感(7-9月期)◆

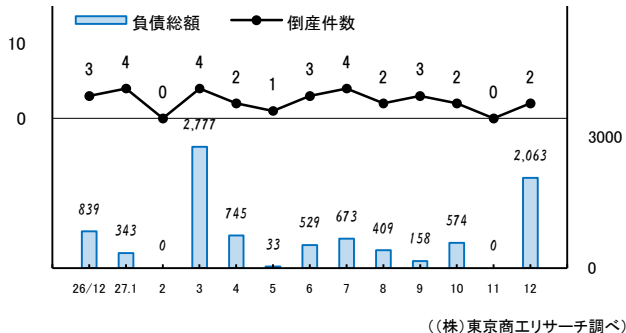
前期からマイナス幅が縮小した



◆企業倒産件数・負債総額(12月)◆

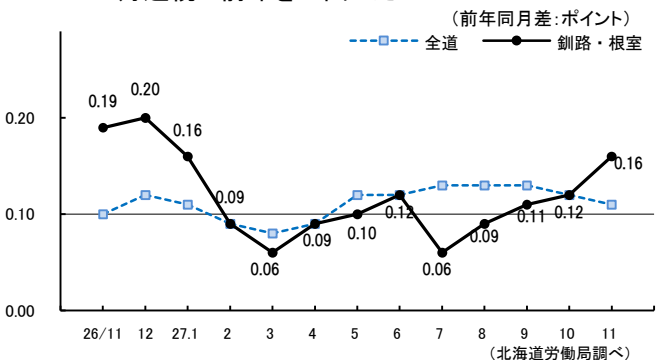
10億円以上の大型倒産が1件発生した

(倒産件数:件、負債総額:百万円)



◆有効求人倍率(11月)◆

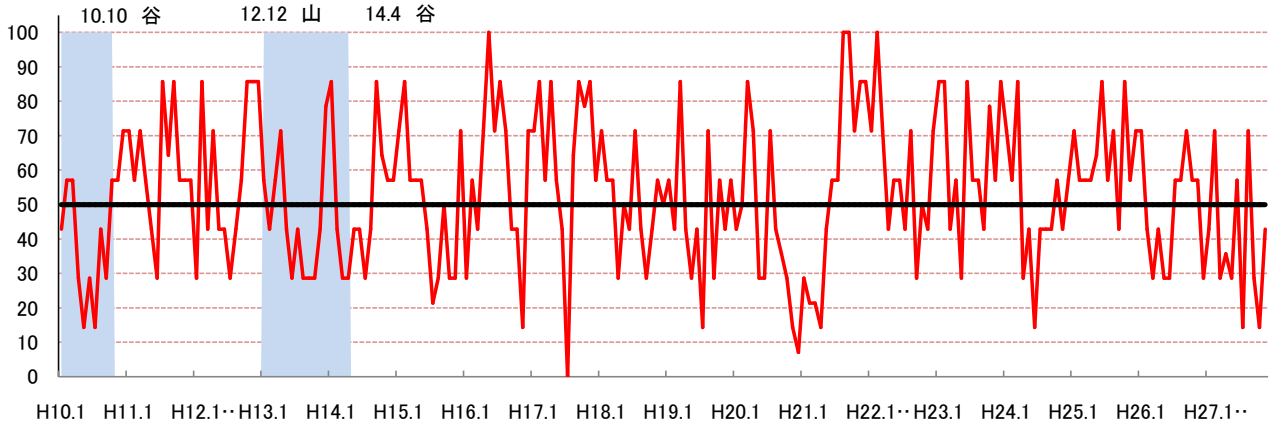
72か月連続で前年を上回った



[景気動向指数・全国の景気]

■ 北海道の景気動向指数

景気動向指数(一致系列)グラフ



景気動向指数(先行・一致・遅行)変化

系 列 名		27/ 11月	12月	27/ 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
先 行 系 列	新規求人数(新規学卒を除く全数)	+	+	+	+	+	-	-	+	+	+	-	-	+
	雇用保険受給者実人員(逆サイクル)	-	-	-	-	-	+	+	+	+	-	+	-	-
	生産指数(生産財)	+	-	+	+	+	-	-	-	-	+	-	r -	p -
	新車登録台数(軽を含む乗用車)	+	+	-	-	-	-	-	-	-	+	+	+	+
	新設住宅着工戸数	+	+	-	-	-	+	+	+	+	-	+	+	-
	企業倒産件数(逆サイクル)	+	-	-	-	-	+	+	+	+	-	-	+	+
	企業業況判断D.I.	-	-	-	-	-	+	+	+	+	-	-	-	+
	拡張系列数	5	3	2	2	2	4	4	5	2	4	3	4	4
	採用系列数	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7
	先行指数	71.4	42.9	28.6	28.6	28.6	57.1	57.1	71.4	28.6	57.1	42.9	r 57.1	p 57.1
一 致 系 列	有効求人倍率(新規学卒を除く全数)	-	-	+	-	-	-	+	+	-	-	+	-	+
	生産指数(鉱工業)	-	-	+	+	+	+	-	-	-	+	-	r -	p -
	出荷指数(生産財)	+	-	-	+	+	0	-	-	-	+	-	r -	p +
	大口電力使用量	-	+	-	+	-	-	-	+	-	+	-	-	-
	百貨店販売額(既存店)	+	-	-	+	-	+	+	+	+	-	+	r -	p -
	着工建築物数(鉱業、建設業用+製造業用)	+	-	-	+	-	-	-	+	+	+	-	+	-
	輸入通関実績(原油及び粗油を除く)	+	+	+	-	-	-	-	-	-	+	-	r -	p +
	拡張系列数	4	2	3	5	2	2.5	2	4	1	5	2	1	3
	採用系列数	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7
	一致指数	57.1	28.6	42.9	71.4	28.6	35.7	28.6	57.1	14.3	71.4	28.6	r 14.3	p 42.9
遅 行 系 列	常用雇用指数(規模30人以上)	-	-	+	+	+	-	-	-	-	+	+	-	
	完全失業率(逆サイクル)	-	-	+	+	+	-	-	-	0	0	-	-	-
	消費者物価指数(総合)	-	-	-	-	-	-	-	-	+	+	-	-	0
	家計消費支出(二人以上の勤労者世帯)	+	-	+	+	-	-	+	+	-	+	+	+	+
	生産指数(資本財)	-	-	+	-	+	-	+	+	+	-	+	r -	p +
	拡張系列数	1	0	4	3	3	0	2	2	2.5	3.5	3	1	2.5
	採用系列数	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	4
遅行指数	20.0	0.0	80.0	60.0	60.0	0.0	40.0	40.0	50.0	70.0	60.0	r 20.0	p 62.5	

(注) 1 北海道経済部経済企画室 試算。PIは速報値、rは確報値。

2 景気動向指数(Diffusion Index 略してDI)は、景気に敏感な諸指標を選定し、そのうち上昇(拡張)を示している指標の割合を示すものであり、景気局面の判断、予測と景気転換点(景気の山・谷)の判定に用いる。採用系列の各月の値を3ヵ月前の値と比較して、増加した時には+を、保合いの時には0を、減少した時には-をつける(変化方向表)。その上で、先行、一致、遅行の各系列群ごとに採用系列数に占める拡張系列数(+の数)の割合(%)をDIとする。

DI=拡張系列数/採用系列数×100(%) (保合い(0)の場合は0.5としてカウントする。)

■全国の景気

我が国経済の基調判断

～景気は、このところ一部に弱さもみられるが、緩やかな回復基調が続いている。～

- ・個人消費は、総じてみれば底堅い動きとなっている。
- ・設備投資は、おおむね横ばいとなっている。
- ・輸出は、弱含んでいる。
- ・生産は、このところ横ばいとなっている。
- ・企業収益は、改善している。企業の業況判断は、一部に慎重さがみられるものの、おおむね横ばいとなっている。
- ・雇用情勢は、改善している。
- ・消費者物価は、緩やかに上昇している。

先行きについては、雇用・所得環境の改善傾向が続くなかで、各種政策の効果もあって、緩やかな回復に向かうことが期待される。ただし、アメリカの金融政策が正常化が進むなか、中国を始めとするアジア新興国等の景気が下振れし、我が国の景気が下押しされるリスクがある。こうしたなかで、金融資本市場の変動の影響に留意する必要がある。

<内閣府月例経済報告(平成28.1.20)から抜粋>

最近の経済動向
平成28年1月号

編集・発行 北海道経済部経済企画室

TEL 011-204-5139

「最近の経済動向」のデータ集は、北海道のホームページでご覧になれます。

<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/kks/ksk/tgs/saikin-doukou.htm>